



2026年6月25日  
鶴舞・千種エリアマネジメント協議会  
イオンタウン株式会社  
名古屋工業大学

## 愛知県「あいちデジタルアイランドプロジェクト」の実証実験フィールドに決定 第4回「ツルマイ・チクサ ミズマツリ」を7月11日(土)に開催

イオンタウン株式会社（本社：千葉県千葉市、以下：イオンタウン）を中心とする鶴舞・千種エリアマネジメント協議会は、名古屋工業大学伊藤孝紀研究室（愛知県名古屋市、学長：小畑誠、以下：名工大伊藤研究室）の監修・運営支援のもと、毎年恒例となっている地域参加型の夏のイベントとして、第4回「ツルマイ・チクサ ミズマツリ」（以下：ミズマツリ）を2026年7月11日（土）に開催いたします。

今回は、愛知県の「あいちデジタルアイランドプロジェクト」の取組の一環として、先端デジタル技術を活用した新たなまちづくりの実証実験の場となります。今年のテーマは「鶴舞・千種に波紋が広がる」。地域の魅力を可視化し、来場者が歩いて巡る楽しいエリアを創出します。

### 記

#### 1. 「あいちデジタルアイランドプロジェクト」連携による実証実験について

愛知県の「あいちデジタルアイランドプロジェクト」の取組の一環として、「ミズマツリ」を実証の場とした2つの実証実験を実施します。IoTセンサーを活用した会場内の人の流れの可視化や、画像生成AIとARを活用した来場者参加型のまちづくりなど、先端デジタル技術を活用した新たな取組を展開します。これにより、社会実験としてスタートしたミズマツリが、未来に向けた持続可能なエリアマネジメントとして次のステージへ展開することを目指します。

#### 2. 名古屋工業大学との共同研究と「ミズマツリ」の歩み

イオンタウンと名工大伊藤研究室は、2022年9月より「まちづくりにおける地域コミュニティの価値創造」に関する共同研究をスタートさせました。同大学の支援のもと、多様な主体と連携し、2023年4月に「鶴舞・千種エリアマネジメント協議会」として名古屋市の地域まちづくり活動団体に登録されました。共同研究および社会実験の場である「ミズマツリ」は、2023年の第1回（歩道や公園の活用）、2024年の第2回（道路の歩行者天国化）、2025年の第3回（若宮高架下の初活用）と、年々公共空間の活用の幅を広げる実証を重ねてまいりました。第4回となる本年は「鶴舞・千種に波紋が広がる」をテーマに、これまでの研究の蓄積を活かし、さらなる回遊性と一体感の創出を図ります。更に、若宮高架下では、議論支援シミュレーターAIを活用した、“鶴舞公園の未来像を考える！”ワークショップの実証実験も行います。

### 3. 開催概要

- (1) 開催日時：2026年7月11日（土）15時～21時、若宮高架下エリア：13時～16時  
※小雨決行、荒天時は7月12日（日）に縮小開催予定。
- (2) 開催場所：イオンタウン千種周辺、若宮高架下

### 4. 主なコンテンツ

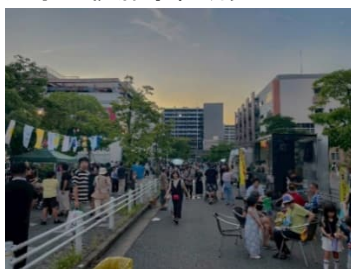
- (1) イオンタウン千種周辺：グルメストリート、浩養園との連携によるビアガーデン、ミズびたし縁日、会場を彩るオリジナルライトづくり、ミズ鉄砲ゲーム、千石学区盆踊り
- (2) 若宮高架下：最新技術のAIを体感できるまちづくり体験、おしごと体験、鶴舞移動図書館
- (3) 会場全体：チェックポイントを巡る「うちわラリー」を実施。
- (4) 会場装飾：粉チョークで「波紋」を描き南北の軸線をつなぐほか、6月20日・21日開催のワークショップで制作したガーランドで会場を装飾し、エリア全体の一体感を創出します。

### 5. 主催および協議会参画者

- (1) 主催：鶴舞・千種エリアマネジメント協議会  
＜主な協議会参画者＞イオンタウン株式会社、マックスバリュ グランド千種若宮大通店、野村不動産ライフ&スポーツ株式会社 メガロス千種、株式会社サッポロライオン 名古屋ビール園浩養園、STATION Ai株式会社、千石学区連絡協議会
- (2) 監修・運営支援：名古屋工業大学 伊藤孝紀研究室



▲昨年の開催様子



▲ガーランドワークショップの様子

以上

### 「ツルマイ・チクサ ミズまつり」概要

※イベント情報詳細：<https://www.instagram.com/tsurumai-chi-kusa/> @tsurumai-chi-kusa (Instagram)

## ご参考

### 1. 鶴舞・千種エリアマネジメント協議会

本協議会は、2022年に立ち上げた勉強会を前身とし、地域団体や事業者、大学と連携してまちの賑わい創出に向けた活動を継続してまいりました。毎年恒例の「ミズマツリ」における公共空間の活用検証に加え、イベントの装飾物を地域の子もたちと制作するワークショップや、エリアの歴史にちなんで地域の事業者がホップを育てる取り組みも行っています。こうした日常的な活動を通じて地域住民の交流機会を創出し、誰もが挑戦しやすく憩えるまちづくりを推進しています。

#### <2026年度の主な活動>

- ・かけっこ教室（CAN EXERCISE！） 4月18日（土）に、若宮高架下において小学生を対象とした「かけっこ教室」を開催しました。全天候型の高架下空間を活かし、天候に左右されずに子どもたちが思いっきり走り回れる機会を提供しました。
- ・Chikusa Night Market 2026年2月20日（金）に、イオンタウン千種 なごみの広場にて初回を開催し、以降、原則として毎月第4金曜日に開催しています。「Chillな屋外空間×夜カフェ」をコンセプトに、地域のキッチンカー等が出店し、夕方以降の屋外空間を活用した新たな滞在・交流の場を継続的に創出しています。

### 2. 「あいちデジタルアイランドプロジェクト」に関する実証実験

#### 【実証内容】

(1) 株式会社センサーズ・アンド・ワークス：複数のIoTセンサーを活用し、会場内の人の流れ（人流）を計測するとともに、通行量や滞留状況、混雑傾向をリアルタイムで把握し、来場者の動きを可視化します。本実証で得られたデータを基に、次年度以降の会場レイアウトや出店配置、来場者誘導、スタッフ配置、休憩スペースの設置、回遊性向上のための施策検討に活用します。

<https://www.sensorsandworks.com/>

(2) 株式会社MESON（メザン）：画像生成AIとAR技術を活用した参加型街づくりプラットフォームアプリ「BUFF」と連携した実証実験を行います。来場者にスマートフォンアプリを活用していただき、ミズマツリ会場や周辺施設に関する改善案を募集、参加者同士で投票を行うワークショップを実施します。先端テクノロジーを活用し、住民起点（ボトムアップ）で意見を収集できる新たなまちづくりの可能性を検証します。<https://www.meson.tokyo/>

※愛知県では、中部国際空港島及び周辺エリアを起点に県内のオープンイノベーションを加速することで、2030年に普及が見込まれる事業やサービスを先行的に実用化することを目指す「あいちデジタルアイランドプロジェクト」を実施しています。本取組の一環として、愛知県内の企業・自治体等が有するフィールドを活用した先端デジタル技術の実証実験を実施しています。



▲株式会社センサーズ・アンド・ワークス



▲株式会社MESON